

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
人工生体材料と評価システムの開発および応用	別所 和久	歯科口腔外科	37,800,000	補 委	トヨタ自動車株式会社
内耳再生医療の内耳疾患モデルへの応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	10,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)継続
移植ES細胞と蝸牛有毛細胞の有機的結合による聴覚機能再生	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,700,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
内耳再生医療技術の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	0	補 委	文部科学省
各種生理活性物質の内耳傷害抑制・再生に関する基礎的検討 2	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	2,002,000	補 委	小野薬品工業㈱
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	12,099,000	補 委	厚生労働省 感覚器障害研究事業
脂肪細胞由来幹細胞を用いた内耳再生に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,200,000	補 委	オリンパス株式会社
臨床応用に直結する内耳遺伝子治療技術の開発	中川 隆之	耳鼻咽喉科	3,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
自己骨髄由来間葉系幹細胞移植による声帯および周辺組織の再生	金丸 眞一	耳鼻咽喉科	1,500,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
胚性幹細胞(ES細胞)から内耳感覚器細胞への運命決定を担う遺伝子群の同定	小島 憲	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
SOCS1の心筋虚血再灌流障害における保護作用	谷本 圭司	集中治療部	2,200,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
klotho遺伝子のステロイドに対する制御機構への関与	辻川 洋	集中治療部	400,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
日本人乳児・新生児糖尿病の原因遺伝子解析:特にKir6.2とその関連遺伝子の関与	依藤 亨	小児科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
抗癌剤による新しい細胞死誘導機序の解析	足立 壯一	小児科	1,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
ヒト胚性幹細胞からの心筋分化機構の解明	馬場 志郎	小児科	1,320,000	補 委	文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
霊長類胚性細胞(ES細胞)を用いた選択的成熟赤血球産生の基盤技術開発	梅田 雄嗣	小児科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
先天性免疫不全症の原因遺伝子同定および病態形成機序の解明	中畑 龍俊	小児科	0	補 ○	(独)理化学研究所
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	平家 俊男	小児科	2,000,000	補 ○	国立精神・神経センター
胚性幹細胞に由来する骨格筋幹細胞を用いた筋変性疾患治療の基盤技術開発	平家 俊男	小児科	8,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
骨髄由来多能性組織幹細胞の作成と同幹細胞を用いた心不全疾患治療の基盤技術の開発	平家 俊男	小児科	1,600,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
FK506のマイクロスフェア腸用製剤に関する実験的検討	千葉 勉	消化器内科	110,000	補 ○	アステラス製薬株式会社
高周波フードナイフの開発	宮本 心一	消化器内科	100,000	補 ○	フジノン株式会社
術後十二指腸乳頭機能不全が生体肝移植後胆道合併症に及ぼす影響の検討	八隅 秀二郎	消化器内科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
塩基性線維芽細胞増殖因子の気道内徐放投与による肺高血圧治療の研究	丸井 晃	心臓血管外科	1,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
増殖因子の局所投与および血流源としての大網を組み合わせた冠動脈再生療法	佐地 嘉章	心臓血管外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
インターフェロン徐放による心不全治療の研究	仁科 健	心臓血管外科	2,000,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
脂肪組織由来間葉系幹細胞による重症心不全治療法の開発	丹原 圭一	心臓血管外科	5,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
複数の増殖因子の計画的除放を用いた新しい血管新生治療の開発	池田 義	心臓血管外科	4,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
ES細胞由来の心筋前駆細胞の虚血心への移植の有効性に関する研究	米田 正始	心臓血管外科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
てんかんの新たな治療法開発と標準化に関する基礎的・臨床的研究	池田 昭夫	神経内科	700,000	補 ○	国立精神・神経センター
常染色体優性外側側頭葉てんかんの病態解明の融合的研究	池田 昭夫	神経内科	1,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
虚血巣特異的ドラッグデリバリーシステムの開発	田中 智洋	神経内科	1,800,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
ヒトにおける運動抑制の脳内機構の研究ー脳磁図計測と磁気刺激法の統合	美馬 達哉	神経内科	1,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
機能的磁気共鳴画像と磁気刺激の併用法によるヒト基底核ー皮質ループの可塑性の研究	美馬 達哉	神経内科	2,700,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
皮質間および皮質下構造ネットワークと高次脳機能	福山 秀直	神経内科	3,200,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
虚血性神経障害に対する免疫療法の開発	富本秀和	神経内科	2,000,000	補 委	長寿医療研究委託事業
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	赤水 尚史	探索医療センター	1,600,000	補 委	厚生労働省科学研究費(長寿科学総合研究事業)
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	赤水 尚史	探索医療センター	1,800,000	補 委	厚生労働省科学研究費(難治性疾患克服研究事業)
ヒトゲノム・再生医療等研究事業「再生医療等の先端医療分野におけるインフォームド・コンセント取得と生命倫理に関する研究」	横出 正之	探索医療センター	5,100,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
血管再構築・動脈硬化病変における造血幹細胞関与の分子機序と創薬標的の探索研究	横出 正之	探索医療センター	2,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
ヒト心筋幹細胞移植療法の前臨床的確立と細胞組織工学によるハイブリッド療法の開発	王 英正	探索医療センター	11,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
胚性幹細胞との細胞融合及び遺伝子工学的手法で再プログラムされた心筋幹細胞株の樹立	王 英正	探索医療センター	3,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
抗酸化作用を持つプロバイオティクスを用いた炎症性腸疾患治療法の開発	西尾 彰功	内視鏡部	1,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
代謝異常症候群モデルマウスの病態解析	益崎 裕章	内分泌・代謝内科	7,400,000	補 委	文部科学省特定領域研究(2)継続
脂肪細胞機能と代謝症候群の分子関連	益崎 裕章	内分泌・代謝内科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
先天性全身性脂肪萎縮症の病因遺伝子の解析	海老原 健	内分泌・代謝内科	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
糖尿病領域における臨床応用を目指したレプチンの基盤研究	宮永 史子	内分泌・代謝内科	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
ヒトES細胞由来血管前駆細胞と血管ホルモンを用いた虚血脳再生医療の開発	宮下 和季	内分泌・代謝内科	1,200,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費新規

注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
ヒトES細胞を用いた生活習慣病血管合併症に対する新規血管再生医療の開発	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	1,100,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費継続
抗肥満、血管再生因子としての生理活性ペプチドの治療応用	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補 委	国立循環器病センター
心臓血管ホルモンのトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補 委	第一製薬㈱
メタボリック症候群を標的としたトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	2,727,000	補 委	塩野義製薬株式会社
脂肪内分泌代謝学を基盤としたメタボリック症候群のトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	11,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(S)継続
尿管再生をめざした新規生体吸収性合成材料の開発	伊藤 哲之	泌尿器科	1,700,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
腫瘍Redox応答系を用いた尿路性器癌における転移病巣特異的分子標的治療の開発	宗田 武(高橋)	泌尿器科	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
泌尿器科がんの統合的OMICSデータの臨床応用を目指した検証研究	小川 修	泌尿器科	13,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)新規
治療アウトカムに立脚した泌尿器科がんの治療反応性予測のための分子マーカーの開発	小川 修	泌尿器科	5,600,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
新規樹立細胞株とXenograftを用いた前立腺癌に対する治療標的分子の同定	小林 恭	泌尿器科	1,000,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費新規
細胞内ストレス応答経路の制御による化学療法耐性克服の分子メカニズムと臨床応用	松井 喜之	泌尿器科	900,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費継続
腎細胞癌の腫瘍血管微細構造に着目した抗血管新生療法感受性に関する研究	神波 大己	泌尿器科	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
細胞培養上清のProterme解析による尿路性器癌腫瘍マーカーの同定	中村 英二郎	泌尿器科	4,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
皮膚人工基底膜の創製	宇谷 厚志	皮膚科	1,000,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
紫外線発癌におけるプロスタノイドの分子機序解明と治療創薬開発	宮地 良樹	皮膚科	1,100,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
難治性皮膚角化症・ダリエー病に対する治療薬の開発	高橋 健造	皮膚科	2,000,000	補 委	(独)科学技術振興機構

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
優性遺伝性皮膚疾患(ダリエー病、ヘイリー・ヘイリー病)治療薬のスクリーニング	高橋 健造	皮膚科	1,400,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
ケロイドマウス創製による治療法開発	是枝 哲	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
色素性乾皮症バリエーション群の遺伝子診断法を確立する。	谷岡 未樹	皮膚科	2,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
肝臓移植における細胆管再生の定量的評価法の確立	羽賀 博典	病理部	400,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
四次元治療計画を用いた画像誘導放射線治療システムの開発	永田 靖	放射線治療科	7,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
放射性微小球を用いた肝腫瘍に対する内照射療法の開発	荒木 則雄	放射線治療科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	8,498,700	補 委	株式会社 島津製作所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	210,465,150	補 委	技術研究組合医療福祉機器研究所
「京都市地域結集型共同研究事業 ナノメディシン拠点形成の基盤技術開発」	平岡 眞寛	放射線治療科	840,000	補 委	(財)京都高度技術研究所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	12,052,950	補 委	日本メジフィジックス(株)
分子標的薬剤と革新的放射線治療を用いた新たながん治療戦略(日中医学)	平岡 眞寛	放射線治療科	2,500,000	補 委	(独)日本学術振興会
小動物用蛍光イメージング装置の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	1,520,000	補 委	株式会社 島津製作所
先進的高精度放射線治療装置技術開発に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	909,090	補 委	三菱重工業株式会社
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	144,357,150	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
マウスの同所性移植肺癌モデルとイメージングシステムを用いた、TS-1と放射線の併用効果に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	300,000	補 委	大鵬薬品工業(株)
Adaptive四次元放射線治療に向けた患部挙動解析及びフィードバック技術の開発研究	平岡 眞寛	放射線治療科	9,450,000	補 委	三菱重工業株式会社

注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
高精度放射線治療の教育システムと研修プログラムの開発	平岡 眞寛	放射線治療科	10,000,000	補 委	(株)ハリアン メディカル システムズ
腫瘍低酸素を標的とした生物学的および物理工学的新規放射線治療戦略	平岡 眞寛	放射線治療科	14,300,000	補 委	文部科学省特定領域研究継続
3テスラMRI装置を用いたMRスペクトロスコピーによる脾臓量とその脾内分布の評価	磯田 裕義	放射線部	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
新しいラジオ波焼却術用穿刺針の開発と臨床応用	柴田 登志也	放射線部	500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)(2)継続
脳内ニコチン性アセチルコリン受容体結合能の加齢性変化と禁煙の影響	石津 浩一	放射線部	1,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
甲状腺腫瘍におけるエラストグラフィを用いた術前良悪性鑑別診断法の開発	東 達也	放射線部	500,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
自己免疫疾患に対する特異抗原と免疫調整物質を用いた疾患特異的治療法の開発	臼井 崇	免疫・膠原病内科	2,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
関節炎抑制蛋白によるリウマチ性疾患の病態解析と新規治療法開発に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	6,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規

合計 152

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun.	Essential role of Hand2 in interventricular septum formation and trabeculation during cardiac development	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Int J Mol Med.	Endothelin-1 activates Homer 1alpha expression via mitogen-activated protein kinase in cardiac myocytes	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Lab Invest.	Roles of coagulation pathway and factor Xa in rat mesangioproliferative glomerulonephritis.	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Clin Exp Nephrol.	Glomerulonephritis induced by methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection that progressed during puerperal period	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Histology and histopathology 2007, 22, 85-90	Protection from oxidative stress by enhanced glycolysis; a possible mechanism of cellular immortalization.	Hiroshi Kondoh	老年内科
Antioxidants and Redox Signaling 2007 9 293-299	A high glycolytic flux supports the proliferative potential of murine Embryonic Stem cells.	Hiroshi Kondoh	老年内科
Stem Cells	HOX decoy peptide enhances the ex vivo expansion of human umbilical cord blood HSCs.	Tanaka H	小児科
Clin.Pediatr.Endocrinol.	Prevalence of mutations in the FGFR3 genes in individuals with idiopathic short stature.	Mamada M	小児科
Blood	Acute lymphoblastic leukemia with a germline <i>MLL</i> gene can be cured in a high proportion of infants with use of intensive chemotherapy: results from the Japan Infant Leukemia Study Group.	Nagayama J	小児科
Stem Cells	Identification and characterization of hemoangiogenic progenitors during cynomolgus monkey embryonic stem cell differentiation.	Umeda K.	小児科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Stem Cells	Highly efficient ex vivo expansion of human hematopoietic stem cells using Delta 1-Fc chimeric protein.	Suzuki T	小児科
Brit. J. Haematol.	Preceding immunosuppressive therapy with antithymocyte globulin and cyclosporin increases the incidence of graft rejection in children with aplastic anemia who underwent allogeneic bone marrow transplantation from HLA-identical siblings.	Kobayashi R	小児科
Arthritis Rheum	Replay	Saito M.	小児科
Eur. J. Radiol.	Buchem MA, Togashi K.: Whole brain magnetization transfer histogram analysis of pediatric acute lymphoblastic leukemia patients receiving intrathecal methotrexate therapy.	Yamamoto A	小児科
Proc. Natl Acad. Sci. USA	A neurosphere-derived factor(NDF), Cystatin C, supports differentiation of ES cells into neural stem cells.	Kato T	小児科
Int. Immunol.	IgE-activated mast cells in combination with pro-inflammatory factors induce Th2-promoting dendritic cells.	Kitawaki T	小児科
Eur J Pediatr.	Familial hemophagocytic lymphohistiocytosis with the MUNC13-4 mutation: a case report	Mizumoto H	小児科
Blood	$\alpha 4$ -integrin+ endothelium derived from primate embryonic stem cells generates primitive and definitive hematopoietic cells.	Shinoda, G	小児科
Microsurgery	Limb salvage of infected diabetic foot ulcers with free deep inferior epigastric perforator flaps.	Ohta, M.	形成外科
Inflammation and Regeneration	Nicotine at a low concentration promotes wound healing.	Morimoto, N.	形成外科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Lab. Invest.	Identification of cartilage progenitor cells in the adult ear perichondrium: Utilization for cartilage reconstruction.	Togo, T.	形成外科
Congenital Anomalies	Regional heterogeneity in the developing palate: morphological and molecular evidence for normal and abnormal palatogenesis.	Okano, J.	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌	分割内側足底皮弁の経験	沢辺一馬	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌	脊椎脊索腫切除後の咽頭後壁再建の経験	山脇聖子	形成外科
日本頭蓋顎顔面外科学会誌	両側唇裂外鼻変形に対する鼻腔底・上口唇筋層再建を重視した外鼻二次修正術—両側唇裂の治療戦略—	川添剛	形成外科
日本手の外科学会誌	Brent変法(手掌ポケット法)を用いた新しい爪再建法	沢辺一馬	形成外科
Pain 2006; 126: 16-23	Bradykinin is a potent pruritogen in atopic dermatitis: A switch from pain to itch.	細木美和	皮膚科
J Immunol. 2006 ; 177: 4917-26	An anti-IL-12p40 antibody down-regulates type 1 cytokines, chemokines, and IL-12/IL-23 in psoriasis	十一英子	皮膚科
J Immunol. 2006; 176: 4748-56.	Control of autoimmune myocarditis and multiorgan inflammation by glucocorticoid-induced TNF receptor family-related protein(high), Foxp3-expressing CD25+ and CD25- regulatory T cells.	小野昌弘	皮膚科
Nat Rev Neurosci. 2006; 7: 535-47	The neurobiology of itch.	生駒晃彦	皮膚科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
JMAJ 2006; 49: 62-9.	Recent trend in Pressure Ulcer Treatment in Japan.	宮地良樹	皮膚科
Jpn J ClinOncol. ; 36: 104-108, 2006	Biweekly Paclitaxel and Gemcitabine for Patients with AdvancedUrothelial Cancer Ineligible for Cisplatin-Based Regimen.	Ogawa O	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 36: 116-120, 2006	Association of the PIG3 Promoter Polymorphism with Invasive BladderCancer in a Japanese Population.	Ogawa O	泌尿器科
Oncogene. 2006 Mar 6	Dicoumarol potentiates cisplatin-induced apoptosis mediated by c-Jun N-terminal kinase in p53 wild-type urogenital cancer cell lines.	Ogawa O	泌尿器科
J Clin Oncol, 24: 1982-1989, 2006	Impact of IGF-I and CYP19 gene polymorphisms on the survival of patients with metastatic prostate cancer.	Ogawa O	泌尿器科
Biol Pharm Bull, 7: 1441-1444, 2006	Evaluation of Calvert's formula for dosage adjustment of carboplatin in Japanese patients with hormone refractory prostate cancer.	Ogawa O	泌尿器科
BJU Int, 98: 197-200, 2006	High-grade and hormone-treated prostate cancer express high levels of thymidylate synthase.	Ogawa O	泌尿器科
Int. J. Urol., 6:703-706, 2006	THE TOHOKU-KYOTO URINARY RECONSTRUCTION STUDY GROUP. 5-year interval change in voiding function of orthotopic ileal neobladder.	Ogawa O	泌尿器科
Cancer Sci., 97:746-752, 2006	High throughput comparative genomic hybridization array analysis of multifocal urothelial cancers.	Ogawa O	泌尿器科
Mol Endocrinol., 20:3053-3069, 2006	Requirement of Androgen-Dependent Activation of Protein KinaseC{zeta} for Androgen-Dependent Cell Proliferation in LNCaP Cells and Its Roles in Transition to Androgen-Independent Cells.	Ogawa O	泌尿器科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Control Release., 116:75-82, 2006	Efficient gene transfer by pullulan-spermine occurs through both clathrin- and raft/caveolae-dependent mechanisms.	Ogawa O	泌尿器科
Int J Clin Oncol., 11:396-402, 2006	Results of radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for stage III prostate cancer: comparison of two different definitions of PSA failure.	Ogawa O	泌尿器科
Prostate Cancer Prostatic Dis. 2006 Dec 12	Health-related quality-of-life after external beam radiation therapy for localized prostate cancer: intensity-modulated radiation therapy versus conformal radiation therapy.	Ogawa O	泌尿器科
J Surg Oncol., 94:619-623, 2006	Significance of elevated preoperative alpha-fetoprotein in postchemotherapy residual tumor resection for the disseminated germ cell tumors.	Kamoto T	泌尿器科
J Anesth	Omission of fentanyl during sevoflurane anesthesia decreases the incidences of postoperative nausea and vomiting and accelerates postanesthesia recovery in major breast cancer surgery	Shirakami G	デイ・サージャリー診療部
Ann N Y Acad Sci	Uterine contractility evaluated on cine magnetic resonance imaging.	Togashi K	放射線診断科
Neuroradiology	Evaluation of pituitary macroadenomas with multidetector-row CT (MDCT): comparison with MR imaging.	Miki Y	放射線診断科
AJR Am J Roentgenol	Clinical value of manual fusion of PET and CT images in patients with suspected recurrent colorectal cancer.	Nakamoto Y	放射線診断科
Radiology	Corticospinal tract localization: integration of diffusion-tensor tractography at 3-T MR imaging with intraoperative white matter stimulation mapping--- preliminary results.	Okada T	放射線診断科
Circulation	Images in cardiovascular medicine. Multimodality imaging of cardiac sarcoidosis before and after steroid therapy.	Tadamura E	放射線診断科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10